

平成二十六年年度秋の叙勲

内海光至さん 瑞宝単光章を受章



内海光至氏
(追分緑が丘在住・75歳)
元 胆振東部消防組合安平消防団

昭和43年12月25日追分消防団団員を拜命以来、消防団業務に精励し安全で住みよい町を守るため、平素より消防団活動のための献身的な努力をささげてきました。

なかでも、昭和56年8月の2日間降り続いた雨は、総降雨量273ミリメートルを記録。町内各所の小川では氾濫がみられ、機を見た氏は、安平川のはん濫の危険性を地域住民へ伝達、堤防の土のう積みなど積極的に行ったほか、昭和50年の店舗火災、昭和51年の国有鉄道札幌管理局追分機関区扇型車庫の火災においても、延焼拡大を阻止すべく冷静かつ

合理的な判断を下し、その的確な判断と行動力は高く評価されたものでした。

地域防災のため消防団副分団長として幹部団員はもとより、団員育成指導にあたるなど、消防体制の確立に大きく寄与し、その功績が称えられての受章となりました。

【経歴】(消防関連) 昭和43年追分町消防団入団、昭和46年胆振東部消防組合設立により、同組合追分消防団員、平成7年同消防団班長、平成16年同消防団部長、平成18年市町村合併により胆振東部消防組合安平消防団部長を歴任

平成二十六年年度食品衛生事業功労者

下出公司さんに厚生労働大臣表彰



下出公司氏
(追分本町在住・75歳)
和菓子 下出菓子舗店主

長きにわたり食品衛生の普及向上、食品衛生行政に対する協力及び業界の指導育成等に尽力して来たとして、追分本町で和菓子店を営む下出公司さんが厚生労働大臣表彰の受賞者に決定。11月25日、苫小牧保健所で伝達式が行われました。

表彰式の後、役場を訪れ瀧町長に朗報を報告。苫小牧地方食品衛生協会早来支部・追分支部において、初の表彰ということもあり、瀧町長とともに喜びを分かち合いながら、受賞は、「先輩たちのご指導のためものです。賞をいただいたのは、支えてくれた皆さんのおかげ」と感想

を述べていました。

下出さんは、昭和33年高校を卒業後、父が営む下出菓子舗を引き継ぎ、これまで和菓子ひと筋にやってきた一方、追分幼稚園で行われるもちつきでは、優しく園児に指導しつつ、食品の大切さを伝えてきました。

【経歴】昭和40年苫小牧地方食品衛生協会食品衛生指導員、昭和62年同協会追分支部長就任、平成元年同協会常任理事、平成25年副会長に就任。(現在に至る)